

令和6年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和5年度)

●基本情報

事業名		町民運動会事業			評価番号	3-4-12-1(1)
担当課		生涯学習課	係	社会体育係	☐ 予算なし	
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備			款	【0109】教育費
	施策	【12】生涯スポーツの推進			項	【010905】保健体育費
	主な取組	①生涯スポーツ事業の推進			目	【01090501】保健体育総務費
					事業	町民運動会事業

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	● なし ○ あり	名称	
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度 ☒ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了年度：令和 年度) ● 単年度繰返し ○ 単年度のみ		
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施(直営) ☐ 委託 ☐ 全部委託 ☒ 一部委託) ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他 ()		
実施形態	● 町単独 ○ 国・県補助事 ○ 国・県補助事業+町事業(上乘せ) ○ その他 ()		
事業概要	町民を対象に、子どもから高齢者まで幅広い年齢層で誰もが気軽に参加できる総スポーツ祭として、多種多様な種目演技を行う。		

●実施 ～D0～

事業業績	利根町総スポーツ祭として、町民の健康増進及び交流機会の提供をし、二所ノ関部屋所属の力士と連携して行う等、多世代の町民が参加しやすいイベントとして開催とした。			
事業費	主な歳出の節	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	10 需用費	円	552,865 円	775,822 円
	11 役務費	円	59,590 円	117,360 円
	13 使用料及び賃借料	円	115,500 円	115,500 円
	12 委託料	円	円	330000 円
	その他	円	円	円
	事業費 計	0 円	727,955 円	1,338,682 円
財源	主な歳入の科目	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	国支出金	円	円	円
	県支出金	円	円	円
	受益者負担金	円	円	円
	地方債	円	円	円
	その他	円	円	円
	一般財源	円	727,955 円	1,338,682 円
	事業費 計	0 円	727,955 円	1,338,682 円

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 町民運動会を通じ、スポーツ意識の向上に努めている。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 町民の総スポーツ祭として、慣例化しており、誰でも参加でき、町の一大イベントとして行っている。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	☐ 余地がない ☒ 見直す余地がある 利根町が少子高齢化となっている状況に合わせて、競技やタイムスケジュールの見直しをする可能性がある。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 利根町の継続イベントとして毎年開催予定である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 類似する事業はないと考える。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 余地がある 事業に対して適切な予算をとっているため難しいものとする。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない 誰もが気軽に参加し、スポーツ意識の向上に努めている為に受益者負担を求めている。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 拡大 ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 少子高齢化などによる人口減少により幼児から高齢者でも誰も気軽に参加しやすい種目や町民が参加したくなるようなイベントを取り入れるなどして改善の方向性も視野に入れ検討していく。

令和6年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和5年度)

●基本情報

事業名		スポーツ推進委員事業			評価番号	3-4-12-1(2)
担当課		生涯学習課	係	社会体育係	☐ 予算なし	
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備			款	【0109】教育費
	施策	【12】生涯スポーツの推進			項	【010905】保健体育費
	主な取組	①生涯スポーツ事業の推進			目	【01090501】保健体育総務費
					事業	スポーツ推進委員事業

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☐ なし ☒ あり	名称	スポーツ基本法		
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	年度		☒ 事業開始年度不明
事業期間	☒ 期間限定あり (事業終了年度: 令和 年度) ☐ 単年度繰返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☐ 町が直接実施(直営) ☐ 委託 ☐ 全部委託 ☐ 一部委託) ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☒ 事務局 ☐ その他 ()				
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事 ☐ 国・県補助事業+町事業(上乘せ) ☐ その他 ()				
事業概要	スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行っている。				

●実施 ～D0～

事業業績	地域のスポーツの発展に寄与するために、スポーツ推進委員に、多種多様なスポーツの指導者を委嘱することにより推進体制の一層の充実を図れた。			
事業費	主な歳出の節	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	1 報酬	192,000 円	192,000 円	192,000 円
	10 需用費	14,860 円	14,860 円	182,060 円
	18 負担金、補助及び交付金	21,300 円	26,300 円	26,300 円
		円	円	円
		円	円	円
	その他	円	円	円
	事業費 計	228,160 円	233,160 円	400,360 円
財源	主な歳入の科目	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	国支出金	円	円	円
	県支出金	円	円	円
	受益者負担金	円	円	円
	地方債	円	円	円
	その他	円	円	円
	一般財源	228,160 円	233,160 円	400,360 円
	事業費 計	228,160 円	233,160 円	400,360 円

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 主に町スポーツ行事や事業に協力し、町体育事業の推進体制を発展できた。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 町スポーツ事業や住民の為にスポーツ活動の促進を行うため。また、それに伴い地域活性化ができるものと考えられる。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	☐ 余地がない ☒ 見直す余地がある 現状の事業内容でも推進体制の充実を図るため余地がないと考える。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 町民運動会や駅伝大会等の町体育事業の開催、運営することに携わっており長期的に町のスポーツ事業の振興ができ、また、スポーツ基本法により市町村の教育委員会は、委嘱することになっている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 類似する事業はない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 余地がある 現時点で必要な事業費で事業の有効性が達成ができていると考える。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない 住民の生涯スポーツ活動の促進のための組織の育成や、住民一般に対してスポーツについての理解を深め、各スポーツ団体等に対する指導及び助言を行っている為に受益者負担を求めている。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 拡大 ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 現時点で必要な事業費で事業の有効性が達成ができおり、また、町体育事業推進に寄与している。

●基本情報

事業名(取組名)		子どもスポーツ教室事業				評価番号		3-4-12-1(3)	
担当課		生涯学習課		係	社会体育係		□ 予算なし		
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり				予算科目	会計	【01】一般会計	
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備					款	【0109】教育費	
	施策	【12】生涯スポーツの推進					項	【010905】保健体育費	
	主な取組	①生涯スポーツ事業の推進					目	【01090501】保健体育総務費	
							事業	子どもスポーツ教室事業	

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称			
新規・継続	☒ 新規 ☐ 継続	事業開始年度	令和	3	年度 ☐ 事業開始年度不明
事業期間	☐ 期間限定あり（事業終了年度：令和 年度） ☒ 単年度繰返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施（直営） ☐ 委託〔 ☐ 全部委託 ☐ 一部委託 〕 ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他（				

●実施 ～DO～

事業業績	利根町の子どもたちと日本ウェルネススポーツ大学生の交流や親睦が図られ、また教室を通じて競技力、体力の向上が図れた。									
支出	主な歳出の節		令和３年度（実績）		令和４年度（実績）		令和５年度（実績）			
	内訳	7 報償費	40,000 円		134,000 円		38,000 円			
		10 需用費	76,556 円		50,240 円		44,157 円			
		11 役務費	5,200 円		2,120 円		840 円			
			円		円		円			
			円		円		円			
		その他	円		円		円			
	事業費 計		121,756 円		186,360 円		82,997 円			
財源	主な歳入の科目		令和３年度（実績）		令和４年度（実績）		令和５年度（実績）			
	内訳	国支出金	円		円		円			
		県支出金	円		円		円			
		受益者負担金	円		円		円			
		地方債	円		円		円			
		その他	円		円		円			
		一般財源	121,756 円		186,360 円		82,997 円			
	事業費 計		121,756 円		186,360 円		82,997 円			

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献しているか。	● 貢献している ○ 見直す余地がある
	理由	スポーツ教室を通じ、生涯スポーツへの関心、スポーツ意識の向上に努めている。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当か。	● 妥当である ○ 見直す余地がある
	理由	子どもたちと学生との交流を図れると考えられる。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができるか。	○ 余地がない ● 見直す余地がある
	理由	子どもたちが、参加できるスポーツ種目の見直しや新規追加をすることで、生涯スポーツへの意欲向上が考えられる。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できるか。	○ 可能性がある ● 可能性がない
	理由	子どもたちと学生の交流する機会となっているため、廃止の可能性がないと考える。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できるか。	○ 可能性がある ○ 可能性がない ● 類似事業はない
	理由	類似事業はない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	○ 余地がない ● 余地がある
	理由	教室で使用する用具を揃えることで、コストの削減が考えられる。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正か。	○ 適正である ○ 見直す余地がある ● 受益者負担を求める事業ではない
	理由	子どもたちが、気軽に参加し、生涯スポーツに関心を持ってもらう為、受益負担を求めない。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ ○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大 ○ 休止 ○ 廃止（終了） ○ 統廃合 ○ 連携
	【理由】 少子高齢化などによる子どもたちの減少により、誰もが参加しやすく関心の持てる種目を追加するなど改善の方向性も視野に入れ検討していく。

令和6年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和5年度)

●基本情報

事業名		利根町駅伝大会実行委員会補助金			評価番号	3-4-12-2(1)
担当課		生涯学習課	係	社会体育係	☐ 予算なし	
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備			款	【0109】教育費
	施策	【12】生涯スポーツの推進			項	【010905】保健体育費
	主な取組	②スポーツ技術・競技力の向上			目	【01090501】保健体育総務費
					事業	利根町駅伝大会実行委員会補助金

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称			
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	年度	☒ 事業開始年度不明	
事業期間	☐ 期間限定あり (事業終了年度：令和 年度) ☒ 単年度繰返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☐ 町が直接実施(直営) ☐ 委託 ☐ 全部委託 ☐ 一部委託) ☒ 補助金等 ☐ 町民協働 ☒ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他 ()				
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事 ☐ 国・県補助事業+町事業(上乘せ) ☐ その他 ()				
事業概要	駅伝大会主催の駅伝大会実行委員会への補助金交付を行っている。				

●実施 ～DO～

事業業績	実行委員会へ補助金を交付することによって地域住民が、駅伝大会を通じて、心身の健康と体力保持増進ができた。 令和5年度は、町内外より42チーム参加があり、近隣市町村との交流もでき、生涯スポーツの振興に寄与できていると考える。			
事業費	主な歳出の節	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	18 負担金、補助及び交付金	円	600,000 円	600,000 円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
	その他	円	円	円
	事業費 計	0 円	600,000 円	600,000 円
財源	主な歳入の科目	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	国支出金	円	円	円
	県支出金	円	円	円
	受益者負担金	円	円	円
	地方債	円	円	円
	その他	円	円	円
	一般財源	円	600,000 円	600,000 円
	事業費 計	0 円	600,000 円	600,000 円

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 地域住民の心身の健康と体力保持増進，近隣市町村との交流ができると考える。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 利根町の地域スポーツの推進，地域活性化を図ることができる。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	☐ 余地がない ☒ 見直す余地がある コース変更，個人のタイムが計測できる機器を導入すれば，参加者は増加すると思われるが，スタッフ，事業費を増加することにより，現状で行うのが妥当であるが，より安全性を高めるため，コースの変更の余地がある。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	☒ 可能性がある ☐ 可能性がない スタッフ，参加者からクレームや中止の意見が多く挙げられた場合は廃止・休止の可能性はある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 類似する事業はない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 余地がある 現在の補助金でも厳しい面はあり，コストを下げたとして，それが必ずしも成果を下げずに達成できるかはわからないので，規模や成果を下げずにコストを下げることは難しい。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	☐ 適正である ☒ 見直す余地がある ☐ 受益者負担を求める事業ではない 町内外を対象として競技性，専門性の高い大会であるため，傷害保険や利根町のアピールとして賞品を贈与する為に受益者負担を求める事業である。また，個人のタイム計測機器の導入やコース変更した場合等は，参加費の増額も検討している。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 (☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 拡大 ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 駅伝大会当日の駐車場の場所や，雨天時の対応，冬に行うためスタッフ，参加者の健康管理及び参加者，応援者の安全性を高めるコースづくり等は改善する余地があると思われる。

令和6年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和5年度)

●基本情報

事業名		豊島杯体育大会補助金			評価番号	3-4-12-2(2)
担当課		生涯学習課	係	社会体育係	☐ 予算なし	
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備			款	【0109】教育費
	施策	【12】生涯スポーツの推進			項	【010905】保健体育費
	主な取組	②スポーツ技術・競技力の向上			目	【01090501】保健体育総務費
					事業	豊島杯体育大会補助金

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称			
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	年度	☒ 事業開始年度不明	
事業期間	☐ 期間限定あり (事業終了年度：令和 年度) ☒ 単年度繰返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☐ 町が直接実施(直営) ☐ 委託 ☒ 全部委託 ☐ 一部委託) ☒ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他 ()				
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事 ☐ 国・県補助事業+町事業(上乘せ) ☐ その他 ()				
事業概要	利根中学校及び近隣中学校を対象としたバレーボール及びバスケットボール競技による大会を開催している。				

●実施 ～D0～

事業業績	利根中学校生徒と近隣中学校生徒の交流や親睦が図られ、またバレーボール、バスケットボールを通じて競技力・技術力の向上が図れた。			
事業費	主な歳出の節	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	18 負担金、補助及び交付金	29,000 円	28,500 円	28,500 円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
	その他	円	円	円
	事業費 計	29,000 円	28,500 円	28,500 円
財源	主な歳入の科目	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	国支出金	円	円	円
	県支出金	円	円	円
	受益者負担金	円	円	円
	地方債	円	円	円
	その他	円	円	円
	一般財源	29,000 円	28,500 円	28,500 円
	事業費 計	29,000 円	28,500 円	28,500 円

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 利根中学校生徒と近隣中学校生徒の交流を図ることができた。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある スポーツを通じ利根中学校生徒が近隣市町村との交流を図れると考える。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 見直す余地がある 現状でも中学生同士の交流やバレーボール、バスケットボールの振興ができていていると考える。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 事業成果が有効なため可能性がないと考える。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 余地がある 現状の補助金で十分な成果があるため削減は難しいと考える。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない 利根中学校生徒が近隣中学校生徒との交流やスポーツ振興ができ、体力の増進を図ることが目的である為に受益者負担を求めている。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 (☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 拡大 ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 中学生生徒同士の交流や競技力向上を図り、バレーボール、バスケットボールのスポーツ振興ができ、現状の補助金で十分な成果があると考え。

●基本情報

事業名(取組名)		総合型地域スポーツクラブへの活動支援			評価番号	3-4-12-3(1)	
担当課		生涯学習課	係	社会体育係	☐ 予算なし		
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計		
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備			款		
	施策	【12】生涯スポーツの推進			項		
	主な取組	③ニュースポーツの普及推進			目		
			事業				

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称			
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	年度	☐ 事業開始年度不明	
事業期間	☐ 期間限定あり（事業終了年度：令和 年度） ☒ 単年度繰返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施（直営） ☐ 委託〔 ☐ 全部委託 ☐ 一部委託〕 ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他（ ）				
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事業 ☐ 国・県補助事業+町事業(上乘せ) ☐ その他（ ）				
事業概要	総合型地域スポーツクラブを中心に多世代の交流や地域住民のスポーツ活動を展開する場の提供、地域住民の健康・体力の保持増進の啓発をする。				

●実施 ～DO～

事業業績	町広報を中心に総合型地域スポーツクラブの紹介や案内を行い、地域住民の健康・体力の保持増進や世代間の交流も促進された。			
支出	主な歳出の節	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）
	内訳			
			事業費 計	
財源	主な歳入の科目	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）
	内訳	国支出金		
		県支出金		
		受益者負担金		
		地方債		
		その他		
		一般財源		
	事業費 計			

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献しているか。	理由	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 毎月、町広報誌で事業の紹介をしており、事業目的が上位政策の達成に貢献している。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当か。	理由	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 町の総合型地域スポーツクラブを紹介するため、町が事業主体として事業を行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができるか。	理由	☒ 余地がない ☐ 見直す余地がある 現状でも広報で事業の紹介ができているため、成果を向上する余地はない。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できるか。	理由	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 事業の内容や成果から、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できるか。	理由	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	理由	☒ 余地がない ☐ 余地がある 現状の状況でも成果があるため、成果を下げずコストを削減することは難しい。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正か。	理由	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない 町民に総合型地域スポーツクラブを紹介するための事業であるため、受益者負担をもとめる事業ではない。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 拡大 ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 多世代の身近な地域でスポーツに親しむことができる新しいタイプのスポーツクラブであるため、今後も継続していく。

●基本情報

事業名(取組名)		レクリエーション事業				評価番号	3-4-12-3(2)
担当課		生涯学習課	係	社会体育係		□ 予算なし	
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり				会計	【01】一般会計
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備				款	【0109】教育費
	施策	【12】生涯スポーツの推進				項	【010905】保健体育費
	主な取組	③ニュースポーツの普及推進				目	【01090501】保健体育総務費
						事業	レクリエーション事業

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称			
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	令和	3	年度 ☐ 事業開始年度不明
事業期間	☐ 期間限定あり（事業終了年度：令和 年度） ☒ 単年度繰り返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施（直営） ☐ 委託（ ☐ 全部委託 ☐ 一部委託 ） ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他（				

●実施 ～DO～

事業業績	レクリエーション事業では、TONEどろリンピックの名称で休耕田を利用した自然体験や基礎体力の向上、異学年との交流や触れ合いの場を提供することができた。							
支出	主な歳出の節		令和3年度（実績）		令和4年度（実績）		令和5年度（実績）	
	内訳	7 報償費	47,124 円		29,700 円		19,800 円	
		10 需用費	12,040 円		237,202 円		215,770 円	
		11 役務費	5,400 円		2,160 円		1,300 円	
		12 委託料	17,999 円		43,543 円		51,838 円	
		13 使用料及び賃借料	97,019 円		158,622 円		169,839 円	
		その他	円		円		円	
	事業費 計		179,582 円		471,227 円		458,547 円	
財源	主な歳入の科目		令和3年度（実績）		令和4年度（実績）		令和5年度（実績）	
	内訳	国支出金	円		円		円	
		県支出金	円		円		円	
		受益者負担金	円		円		円	
		地方債	円		円		円	
		その他	円		円		円	
		一般財源	179,582 円		471,227 円		458,547 円	
	事業費 計		179,582 円		471,227 円		458,547 円	

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献しているか。	理由	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある レクリエーション事業を通じ、基礎体力の向上、自然体験及び異学年の交流を図ることができる。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当か。	理由	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 他の実施主体を活用するような事業ではないため、町が主体となり事業を行うことが妥当であると考えられる。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができるか。	理由	☐ 余地がない ☒ 見直す余地がある 競技内容の見直し、気軽に参加できる環境の整備などについて見直す余地はあると考えられる。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できるか。	理由	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 子どもたちが、自然体験できる事業、また例年多くの子供たちが参加する為、廃止等の可能性はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できるか。	理由	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 類似事業は無い為、統廃合等はないと考える。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	理由	☒ 余地がない ☐ 余地がある 事業に必要な消耗品や管理委託料があるため、コスト削減はできないと考える。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正か。	理由	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 拡大 ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 夏に実施する事業のため、熱中症対策の徹底、普段入ることのない休耕田で行う事業の為、自然を体験できる種目内容に改善する余地があると思われる。

●基本情報

事業名(取組名)		ウォーキング大会実行委員会補助金			評価番号	3-4-12-3(3)	
担当課		生涯学習課	係	社会体育係	☐ 予算なし		
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計	【01】一般会計	
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備			款	【0109】教育費	
	施策	【12】生涯スポーツの推進			項	【010905】保健体育費	
	主な取組	③ニュースポーツの普及推進			目	【01090501】保健体育総務費	
					事業	ウォーキング大会実行委員会補助金	

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	● なし ○ あり	名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	プルダウン 選択	年度	☒ 事業開始年度不明
事業期間	● 期間限定あり（事業終了年度：令和 年度） ○ 単年度繰返し ○ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☐ 町が直接実施（直営） ☐ 委託（ ☐ 全部委託 ☐ 一部委託） ☒ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☒ 事務局 ☐ その他（ ）				
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事業 ☐ 国・県補助事業+町事業(上乘せ) ☐ その他（ ）				
事業概要	ウォーキング大会を主催するウォーキング大会実行委員会への補助金交付を行っている。				

●実施 ～DO～

事業業績	実行委員会へ補助金を交付することによって地域住民が、ウォーキング大会を通じて、心身の健康と体力保持増進ができた。 令和5年度は、大会中に荒天となり、参加者及びスタッフの健康安全を優先し、中止としている。				
支出	主な歳出の節		令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）
	内訳	18 負担金、補助及び交付金	273,000 円	273,000 円	273,000 円
			円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
	その他		円	円	円
事業費 計		273,000 円	273,000 円	273,000 円	
財源	主な歳入の科目		令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）
	内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
	一般財源		273,000 円	273,000 円	273,000 円
事業費 計		273,000 円	273,000 円	273,000 円	

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献しているか。	理由	● 貢献している ○ 見直す余地がある 地域住民の心身の健康と体力保持増進，多世代交流ができると考える。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当か。	理由	● 妥当である ○ 見直す余地がある 利根町の地域スポーツの推進，地域活性化を図ることができると思う。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができるか。	理由	○ 余地がない ● 見直す余地がある 地域住民がより参加しやすい距離やより安全性を高めるコースの変更の余地があると思う。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できるか。	理由	○ 可能性がある ● 可能性がない 利根町の継続イベントとして毎年開催予定である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できるか。	理由	○ 可能性がある ○ 可能性がない ● 類似事業はない 類似事業は無い為，統廃合等は無いと考える。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	理由	● 余地がない ○ 余地がある 現時点で必要な事業費で事業の有効性が達成ができていると考える。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正か。	理由	○ 適正である ○ 見直す余地がある ● 受益者負担を求める事業ではない

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ ○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大 ○ 休止 ○ 廃止（終了） ○ 統廃合 ○ 連携
	【理由】 ウォーキング大会当日の雨天時対応，寒暖差の激しい3月に行うためスタッフ，参加者の健康管理及び参加者の安全性を高めるコースづくり等は改善する余地があると思われる。

令和6年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和5年度)

●基本情報

事業名		利根町スポーツ協会補助金		評価番号	3-4-12-4(1)	
担当課		生涯学習課	係	社会体育係	☐ 予算なし	
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備			款	【0109】教育費
	施策	【12】生涯スポーツの推進			項	【010905】保健体育費
	主な取組	④スポーツ協会、スポーツ少年団の育成と支援			目	【01090501】保健体育総務費
					事業	利根町体育協会補助金

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称			
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	年度	☒ 事業開始年度不明	
事業期間	☐ 期間限定あり (事業終了年度: 令和 年度) ☒ 単年度繰り返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☐ 町が直接実施(直営) ☐ 委託 ☐ 全部委託 ☐ 一部委託 ☒ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他 ()				
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事 ☐ 国・県補助事業+町事業(上乗せ) ☐ その他 ()				
事業概要	種目別競技団体が、自主的に各々専門競技に伴う活動をしている。また、県主催の研修会や大会等に参加及び町内大会の開催及び運営をしている。				

●実施 ~DO~

事業業績	名称が体育協会からスポーツ協会と名が変わり、スポーツを通じて、青少年の健全な心の育成とスポーツの振興を図り、さらに住民相互の親睦を通じて明るい町づくりに寄与できた。			
事業費	主な歳出の節	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	18 負担金, 補助及び交付金	616,000 円	616,000 円	616,000 円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
	その他	円	円	円
	事業費 計	616,000 円	616,000 円	616,000 円
財源	主な歳入の科目	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	国支出金	円	円	円
	県支出金	円	円	円
	受益者負担金	円	円	円
	地方債	円	円	円
	その他	円	円	円
	一般財源	616,000 円	616,000 円	616,000 円
	事業費 計	616,000 円	616,000 円	616,000 円

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 町スポーツ協会に所属している団体、スポーツ少年団がスポーツ事業を通し、体育競技及びスポーツレベルの向上及び振興ができた。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 利根町のスポーツ団体が対象の補助金のため妥当であるとする。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 見直す余地がある 加盟団体に対して適切な補助金を交付でき、上記の政策目的が達成できていると考える。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 町民体育活動やスポーツクラブの指導育成等を担っているため廃止等はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	☐ 余地がない ☒ 余地がある スポーツ協会やスポーツ少年団の登録団体や人数が減少した場合は、コストの削減はあり得ると考える。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない 主に町民体育の振興と、町民の健康増進と体力向上、地域社会づくりに寄与することを目的としている為、受益者負担を求めている。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 拡大 ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 現状で適切な補助金の交付がなされており、体育競技会の開催や町民体育活動、スポーツクラブの指導育成等を担っているため現状維持と考える。

令和6年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和5年度)

●基本情報

事業名		学校体育施設開放事業			評価番号	3-4-12-4(2)
担当課		生涯学習課	係	社会体育係	☐ 予算なし	
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備			款	【0109】教育費
	施策	【12】生涯スポーツの推進			項	【010905】保健体育費
	主な取組	④スポーツ協会、スポーツ少年団の育成と支援			目	【01090501】保健体育総務費
					事業	学校体育施設開放事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし ○ あり	名称	
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度 ☐ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了年度: 令和 年度) ● 単年度繰り返し ○ 単年度のみ		
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施(直営) ☐ 委託 ☐ 全部委託 ☐ 一部委託) ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他 ()		
実施形態	● 町単独 ○ 国・県補助事業 ○ 国・県補助事業+町事業(上乗せ) ○ その他 ()		
事業概要	学校体育施設を学校教育に支障のない範囲において地域住民のスポーツ活動の場として開放している。		

●実施 ~DO~

事業業績	スポーツ活動に親しむことができるよう地域住民のスポーツ活動の場として学校体育施設を開放できた。 また、生涯学習の振興と普及ができた。			
事業費	主な歳出の節	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	10 需用費	58,630 円	44,506 円	35,497 円
	12 委託料	220,000 円	220,000 円	110,000 円
	17 備品購入費	円	円	円
		円	円	円
	その他	円	円	円
	事業費 計	278,630 円	264,506 円	145,497 円
財源	主な歳入の科目	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)
	国支出金	円	円	円
	県支出金	円	円	円
	受益者負担金	円	円	円
	地方債	円	円	円
	その他	円	円	円
	一般財源	278,630 円	264,506 円	145,497 円
	事業費 計	278,630 円	264,506 円	145,497 円

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 地域の住民のスポーツ活動の場として開放できた。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 学校施設の設置者である当町が管理している学校施設を一般に開放する事業のため、町関与は妥当であると考えられる。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 見直す余地がある 地域住民が無料でスポーツを行える貴重な場所であり、現状のままで事業としての効果はあると考える。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 総合体育館等がない現状で、また利用団体や利用者が著しく減っていないため、廃止等の可能性はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 余地がある 必要な消耗品や管理委託料があるため、コスト削減はできないと考える。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない スポーツ活動に親しむことができるように地域住民のスポーツ活動の場として開放することが目的であり、利用者の負担を少なくする為に受益者負担を求めている。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 (☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 拡大 ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 毎年、利用団体や利用人数があり、無料で利用できることも含め現状維持が望ましいと考える。